

行政視察報告

平成 22 年 2 月 16 日

薩摩川内市 「薩摩川内市議会基本条例について」

薩摩川内市は 2004 年(平成 16 年)10 月に 1 市 4 町 4 村が合併し誕生した。薩摩半島の北西部に位置し、南は鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甕島、中甕島、下甕島の甕島（こしきしま）区域で構成される。人口は約 10 万人、面積は約 680km² と鹿児島県 1 位の広大な市域を有する。

議会基本条例は、平成 20 年 9 月 26 日に制定、合併 5 年目となる同年 10 月 12 日から施行された。

そもそもこの条例ができた出発点を訊ねたところ、岩下早人議長は「これまで議員は旧市町村や自分の地域の枠組みだけを守っていたらよい、という感覚があった。合併して 1 市 4 町 4 村が 1 つの市になったのだから、自分の地域さえ良ければいいというのは、いけないのではないか？」という問題意識と、ちょうど執行部側からは自治基本条例が制定されようとしていたこともあり、同時期の制定を目指し、活動を始めたということでした。

市民との意見交換会は、34 人の議員が 5～6 人単位で 6 班を編成し、1 班で 48 地区コミュニティ協議会の 8 地区を担当している。

具体的な実行例についての検証は、来年も視察にきてその成果を見てくれるよう薩摩川内市議会議長に勧められました。また、議員定数、議員報酬についても、条例記載があり、大変有意義な視察研修でありました。



指宿市 「市内循環バス運行対策事業について」

指宿市（いぶすきし）は、鹿児島県薩摩半島の南端にある市。指宿温泉の名で知られる観光の街である。人口は約 46,000 人、面積は 149km²。

市内循環バス「イッシーバス」は旧指宿市の事業でスタートした。総合振興計画の中で、市内 3 校区から市内循環バスの運行要望が提言され、平成 14 年に試験運行をスタートし、平成 15 年 10 月から本格運行を開始した。初めから「利用の少ないところは運行しない」と宣言し、各路線ごとにアンケートや利用状況を調査し、コースを検討している。

平成 18 年 1 月に指宿市、山川町、開聞町が合併し指宿市となり、コースの拡充を検討し、平成 19 年 7 月より現在の 2 コースの運用が開始されている。20 年 4 月、20 年 10 月、21 年 4 月に路線変更を実施し、市民の多様な要望に対応している。

運賃は 200 円、1 台のバスが 1 日おきに 2 コースを 2 往復している。バスは市の自前ではなく、運行业者（鹿児島交通株式会社）が所有している座席数 17 の小型バスを活用し、乗車密度目標を 10 人とし、運行委託料（平成 21 年度 1200 万円）の低減を図っている。

